

Kumenan Press



久米南町立久米南中学校 校長室便り

No.11 2019.6.18

満開！笑顔の花

誕生寺支援学校との交流会 <2年生> : 6月4日(火)



6月4日(火)、本校体育館において誕生寺支援学校中学部と2年生との交流会が行われました。

この交流会は、「障害の有無に関係なく、全ての子どもたちの人権が尊重され、共に幸せに生きることができる社会の実現を目指す」ことを目的として昭和56年に始まった交流学習の一環として、本校における人権教育の核として現在まで連続と続いている取組です。

誰もが相互に人格と個性を尊重し合い、多様な在り方を認めたと上で、全ての子どもたちの自立と社会参加を目指すことは、教育の重要な課題です。共生社会の実現に向けて、「場を共有する」だけでなく「共に学ぶ活動をつくる」ことを目標として、今後の取組をさらに充実させたいと考えています。

初めて会う人ばかりでとても緊張したけど、ゲームを続けていく中で緊張がほぐれて、自然と笑顔で楽しめました。ペアで協力することによって、初対面でも仲良くできました。交流会のあと、もっとこうすればよかったかなと思い、反省したこともあったけど、楽しんでもらえてよかったなと思いました。パズルでは、自分たちでやってみたときは難しかったから、ちゃんとできるかなと心配だったけど、みんなが「こうじゃない？違うと思う」と言いながら、協力して完成させていて、協力するのはいいことだなと改めて思いました。

ほくは支援学校の生徒の笑顔を見て、とてもうれしい気持ちになりました。そして、ゲーム、パズルが終わり「楽しかった」と言ってくれたので、さらにうれしくなりました。すべてが終わり、片づけをしていると、ほくたちが作ったダンボールの池がただのダンボールになったのを見ると、「自分たちが頑張った」という達成感がありました。スローガンも達成できて、人への優しさ、接し方が学べて、良い経験ができた1日になりました。

生徒の感想より

最初にパズルをしたとき、ピカチュウが完成して、とても喜んでくれて嬉しかったです。手で持つことが難しい人も、話すことが難しい人もいたけど、がんばってパズルをはめようとした姿に感動しました。輪投げは、みんな楽しんでくれたので、よかったです。私とペアの人は計算がとても早くできてびっくりしたし、3回中3回入れたのがすごいと思いました。ひじを支えて手を持ってあげないと、輪投げをすることができなくて大変そうだったけど、頑張っ入れてようとしている姿がとても印象に残りました。

